

環境美化にひと役 河野八双会奉仕活動

4月20日、国道8号武生トンネル口（河野側）で、河野八双会が奉仕活動を行いました。この活動は、国土交通省のボランティアサポートプログラム及び（財）げんでんふれあい福井財団の助成事業の一環として行われています。

会員らは、草刈りやゴミ拾いを行った後、平成17年3月に作った道路脇の花壇に1000ポットの色とりどりの花の苗を植えました。花壇のデザインは、毎年会員らで決めており、完成した花壇は、今年も通行するドライバーの目を楽しませてくれそうです。



やったー！ホールインワン グラウンドゴルフオープン大会



4月23日、今庄365スキー場ゲレンデで、町内外から125人が参加し、グラウンドゴルフオープン大会が開かれました。ゲレンデには、24ホールが設けられ、5、6人が1組となりコースを回りました。上級者になると距離感バッチリ！ホールインワンが出るとガッツポーズを決め、日頃の練習の成果を発揮していました。

齋藤支配人は、「5月～10月まで毎月月例会を行います。さわやかな汗を流した後は、温泉につかり、楽しい1日を過ごしてもらいたい」と話していました。

プール遊び楽しい!! ウォーターランドまつり

子どもの日恒例のウォーターランドまつりが、5月5日開催され、大勢の親子連れで賑わいました。

今年は大人も子どももプールを無料開放。いろいろな浮き具やビーチボールを使って遊ぶ親子や、ウォータースライダーを勢いよく滑る子どもたちは歓声をあげて楽しんでいました。屋外では焼き鳥や焼きそばなどの模擬店のほか、50食のカレー汁が振る舞われました。

午後からは、テラスでダンスや南条中学校和太鼓クラブによる演奏が披露され、時折、はず坊がとび入り参加するなど訪れた人を楽しませていました。



大きく育て アワビの稚貝放流

河野地区栽培漁業推進協議会が、4月28日、越前町の米ノ中間育成施設で昨年12月から育てられた、アワビの稚貝14,000個を放流しました。稚貝の大きさは約3センチ程度のかわいらしいもの。稚貝を外敵から守るための隠れ家となる大きな貝殻といっしょに、「大きく育て」と放流されました。順調に育てば3～4年後には、水揚げが可能になるそうです。



おめでとう100歳 長寿をお祝い

米野慈門さん(鯖波 明治41年4月30日生)が100歳を迎え、増澤町長が100歳お祝い金贈呈と慰問に訪れました。「おめでとうございます。お元気そうで何よりです」と話しかけられると、「ありがとうございます」と笑顔で答えました。また、長生きの秘訣は「好き嫌いをせず何でも食べて、よく寝ることです」と話していました。

米野さんに加え、町内の100歳以上の方は10人になりました。



まなざしは真剣

「こどもの日」野球教室

5月5日、南条グラウンドで、本県出身の元プロ野球選手ら6人による野球教室が開かれ、町内外の小中学生約120人が参加しました。

キャッチボールの後、ポジション別に分かれ守備練習を行い、元阪神の川藤幸三さんは「ボールを捕ったら、ステップを踏んでしっかり投げること」、「全ての打球が自分のところに飛んでくるとして守ること」などと指導。打撃練習では元大洋の湊谷武雄さんが「ボールを見逃した後の姿勢も大切」と細かなアドバイスを送りました。

参加した小中学生らは、普段経験できない元プロ野球選手からの指導に、真剣な表情で聴き入っていました。



力いっぱいがんばるぞ

町スポーツ少年団結団式

5月10日、南条小学校体育館で、町内のスポーツ少年団15単位団と指導者、母集団など約200人が集まり、結団式が行われました。

式では、鈴木町スポーツ少年団本部長が「スポーツを通して、しっかりと心身を鍛え、立派な人間になってください」とあいさつ、各団に町スポーツ少年団認定証を送りました。15単位団を代表して、南越前町柔道スポーツ少年団の平澤キャプテンが4つの誓いの言葉を述べ、各団の主将が抱負や目標を発表、団員達は今年一年の活動に新たな決意を固めていました。



歴史遺産を後世に アカタン砂防えん堤群保全活動

5月18日、古木地係にある国の登録有形文化財「アカタン砂防えん堤群」で、田倉川と暮らしの会を主体に町内外から約50名が参加し、保全活動に取り組みました。施設周辺の草刈りや施設の修景作業などを行った参加者らは、「先人たちの遺した、重要な歴史遺産を美しく守るため、より一層保全活動に励んでいきたい」と話していました。自然と共生した砂防えん堤群は、明治時代に、豪雨により発生した大規模な土砂災害を防止するため築かれたもので、現在は小中学生の自然学習や都市住民との交流の場となっています。

